

硫化汚染性試験廃止

旧規格の硫化汚染性試験は、試験の際に有毒な硫化水素を発生させる必要があり、大変危険な試験を行う必要があった。

一方、硫化汚染による壁紙の変色は原因物質も分かっており、現在は壁紙にその物質を使うことはなくなっている。原因物質を使わないことを徹底することで、その試験も必要ないところから、危険な試験を削除することにしたという。

壁装新聞(第414号)より引用